

安曇野ブランドデザイン会議の進ちょく状況などをシリーズでお伝えします

# 市民の力で 青少年の健全な環境を

11月は  
全国青少年健全育成強調月間

未来をつくる青少年が、心豊かにたくましく成長していくことは社会の大きな願いです。



市内の有害自動販売機は 10月末現在で3カ所 22台

しかし、青少年が置かれている状況は、有害な情報のはらみ、青少年による犯罪、大人による青少年を対象とした犯罪など、複雑化し、深刻な状況にあります。

この問題に対応するためには、大人自らが青少年の手下となり、青少年の健全育成に共通の理解を持ち、その認識を深め、日常的にこれに取り組む必要があります。

## なくそう！有害自動販売機

成人向けの雑誌やビデオなど、子どもたちに悪影響を与える恐れのある商品を売る「有害自動販売機」。

長野県は全国の都道府県で唯一、有害自動販売機設置を規制する条例を定めず、住民と行政が協働して健全な社会環境づくりを進めています。県内には、

独自の条例で規制を行う自治体もあります。その地域では減少傾向にありますが、撤去された販売機が市内に設置されてしまう場合も考えられます。

これらの販売機は、一度設置されると、撤去はなかなか難しいのが現状です。地主の皆さん、業者が自動販売機設置の話を持ちかけてきた場合は、「何を売る販売機か」など、十分に契約内容を確認し、市内の健全な環境整備にご協力ください。

## 地域ぐるみで啓発

市内の有害自動販売機は昨年度、1カ所4台の販売機が撤去されましたが、10月末現在で3カ所22台が設置されている状況にあります。

このような中、その撤去に地道に取り組む地域もあります。明科地域の市民有志で立ち上

げた明科地域青少年育成市民会議では、防犯協会と共同で用意したのぼり旗を有害自動販売機設置個所に設置し、撤去に向けた啓発を行っています。

## たまり場の問題

昨年8月、JR駅周辺が夜遅くに青少年のたまり場になるとの情報がありました。

穂高地域では、市民有志が「夏休みパトロール会議」を立ち上げ、昨年、子どもの夏休み期間中、午後8時、10時からの2回、青少年の集まりやすい、ゲームセンター、JR駅周辺などを交代でパトロールし、子どもたちへの声かけなどを行いました。

夏休みパトロール会議は穂高地域青少年育成連絡会議と名前を変え、本年度も夏休み期間中のパトロールを行うなど継続した活動をしています。

子どもの健やかな成長を願う思いがひとつの輪となり、少しずつ地域に広がっています。

明科総合支所内社会教育課 子ども支援係

(TEL 62・4565 FAX 62・3525)

## 新たなプロジェクト誕生！

安曇野百選プロジェクト



地域の風景や景観に目を向け、安曇野の宝を再認識し、市民主体の景観保全活動へとつなげるため、「安曇野百選プロジェクト」が環境・景観部に発足しました。10月7日の初会合では、30人を超える皆さんが、プロジェクトの理念や今後の方針を話し合いました。今後は、安曇野を代表する風景百選と地域資源を掘り起こす「地域景観百選ワークショップ」、「宝探しウォークキング」などを催す予定です。

安曇野ブランド発見ウォーク

## 秋の長峰山〜光城山を散策

地域を散策しながらその魅力を再認識し、幅広い視点で安曇野ブランドを検討するために行われている「安曇野ブランド発見ウォーク」が10月18日に開かれました。第2回となるこの日は、長峰山頂から光城山山頂までの往復を、自然観察インストラクターの加々美孝男さんの案内で散策しました。30人を超える参加者は、秋の深まりを感じる山道を満喫し、この地域独自の魅力に理解を深めました。

## 菜の花プロジェクト

### ともに推進しませんか？

菜の花プロジェクトでは、市内で菜の花やひまわりを作付けしている皆さんのネットワーク化を図り、活動の輪を広げていきたいと考えています。

参加形態は、委員となってプロジェクトの運営などにかかわる形態と、プロジェクトのメンバーに登録し、情報交換などにかかわる形態の2種類があります。

黄色に染まる安曇野を夢見ながら、ともにプロジェクトを推進しませんか。詳しくは事務局までお問い合わせください。

明科総合支所内安曇野ブランドデザイン会議事務局

(TEL 77・3111 FAX 77・6060)